

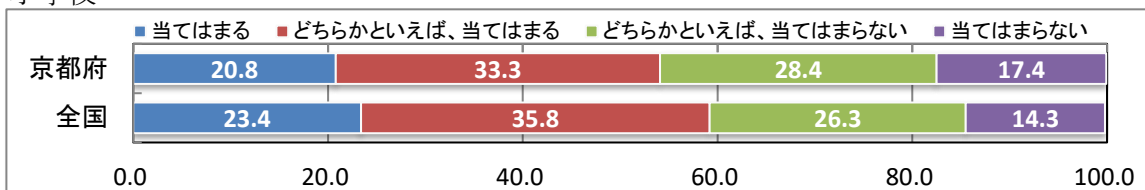
2 児童生徒質問紙調査結果の概要

(1) 学ぶ意義について

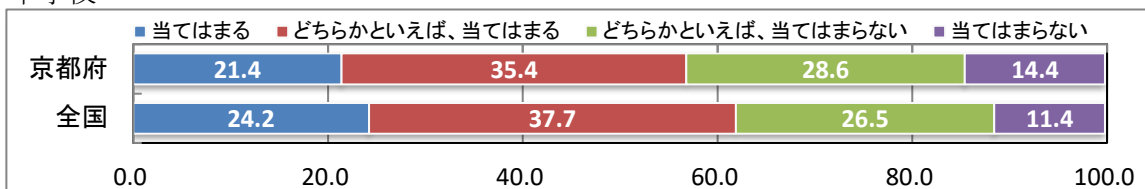
- 「教科の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国に比べて低い傾向がある。
- 全国的に、算数・数学、理科については、小学校より中学校で肯定的に回答している割合が下がる傾向があるが、京都府ではその傾向がより顕著である。

Q49 国語の勉強は好きですか

小学校

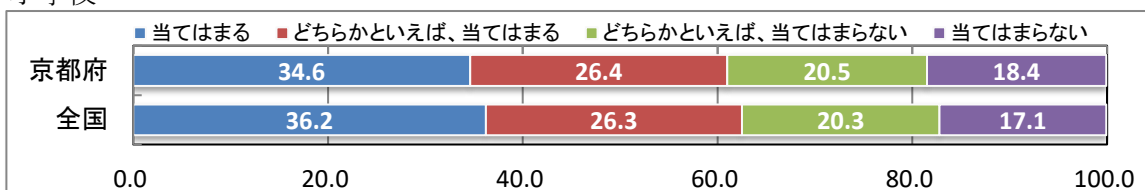


中学校

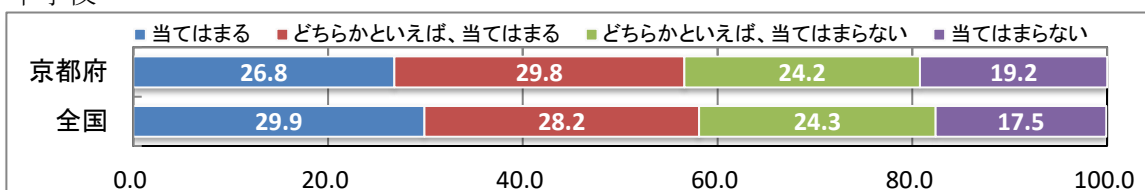


Q53 算数（数学）の勉強は好きですか

小学校

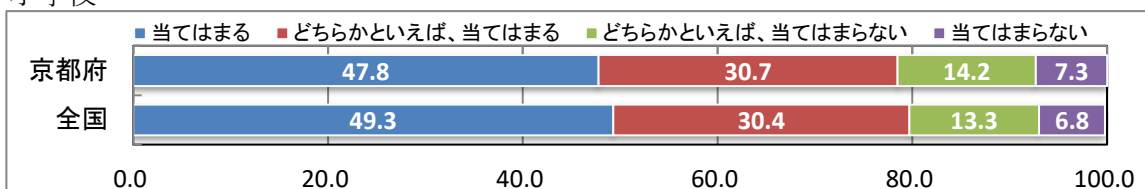


中学校

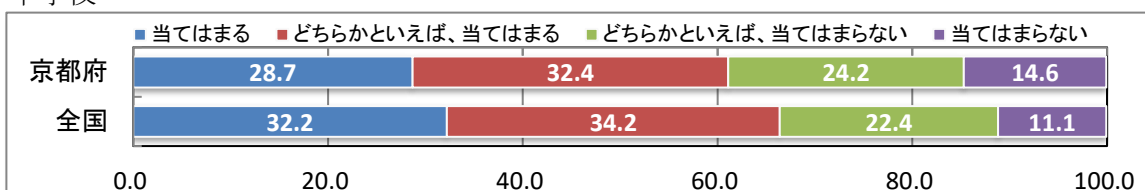


Q61 理科の勉強は好きですか

小学校



中学校



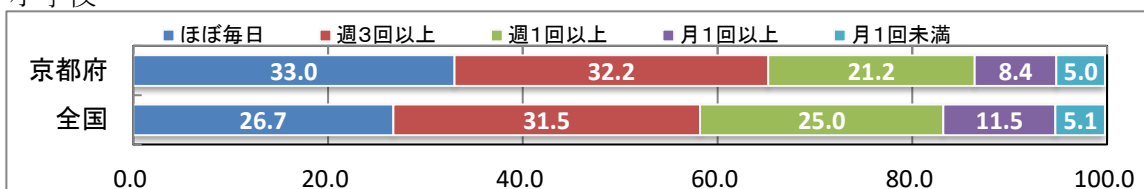
(2) ICT活用について

○学校でICT機器を使用している割合は全国に比べて高い傾向がある。また、調べる場面、意見を交換する場面、考えをまとめ、発表する場面等、授業における様々な場面での活用頻度も全国に比べて高い傾向がある。

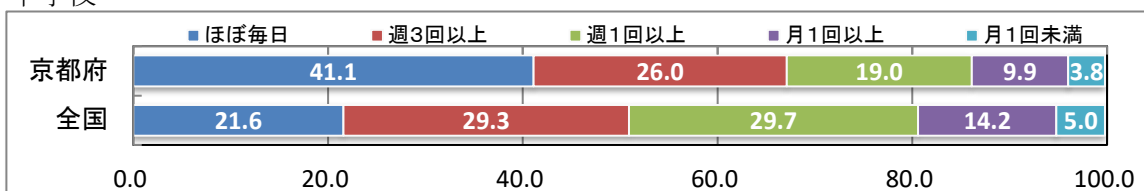
○普段（月曜日から金曜日）、SNSや動画を視聴する割合は、小学校、中学校ともに全国と比べて高い傾向がある。

Q32 5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業で，PC・タブレットなどのICT機器を，どの程度使用しましたか

小学校

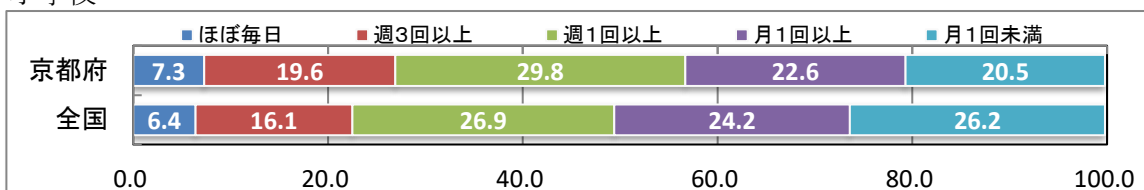


中学校

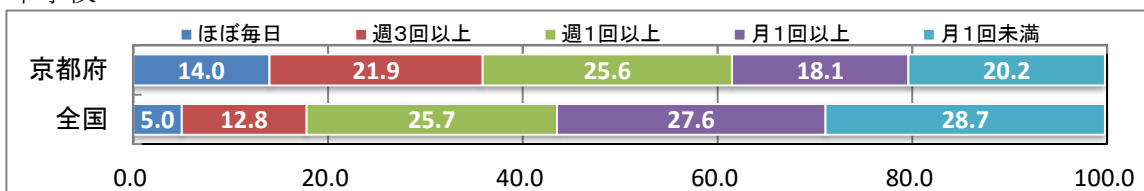


Q34 学校で，学級の友達（生徒）と意見を交換する場面で，PC・タブレットなどのICT機器を，どの程度使っていますか

小学校

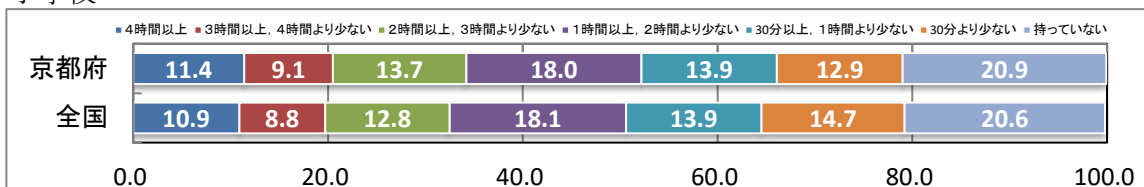


中学校

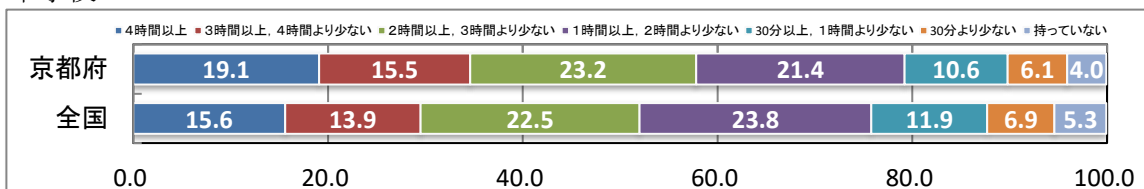


Q6 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

小学校



中学校

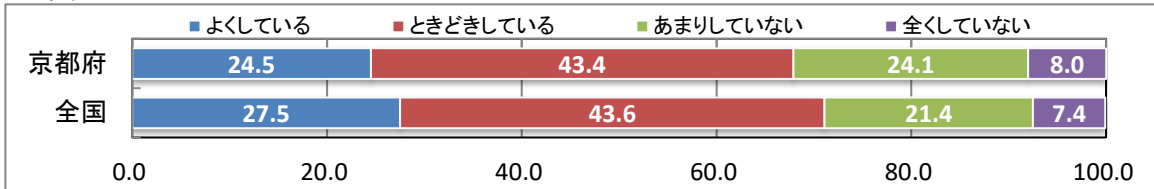


(3) 家庭学習について

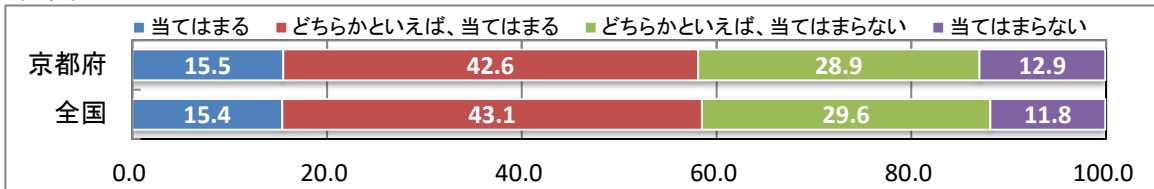
○家で計画的に学習する割合は、小学校では全国と比べて低い傾向にあるが、中学校では全国とほぼ同程度の割合である。
 ○学習時間について、小学校、中学校ともに全国より短い傾向がある。特に、全くしない割合が中学校で大きく増える傾向がある。

Q20 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

小学校

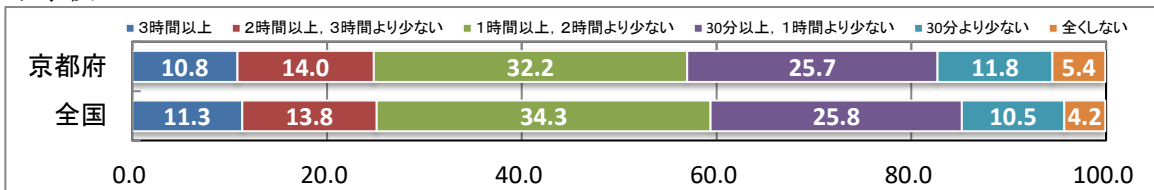


中学校

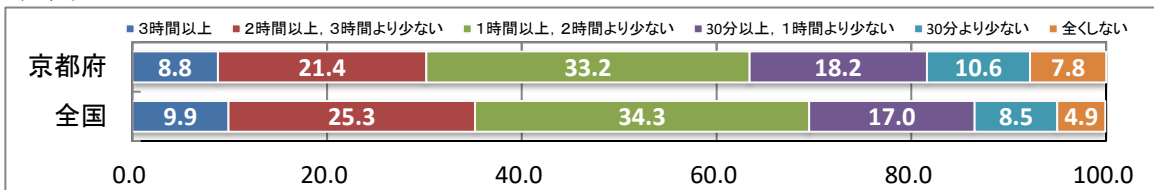


Q21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

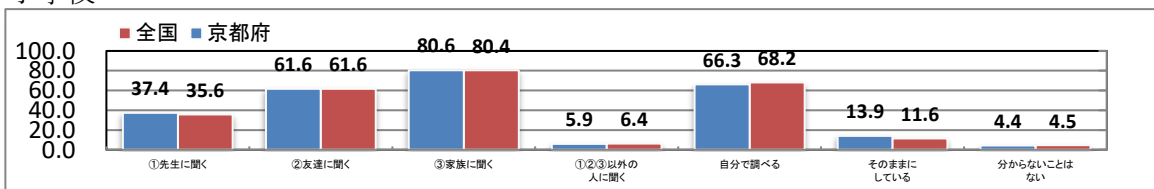


中学校

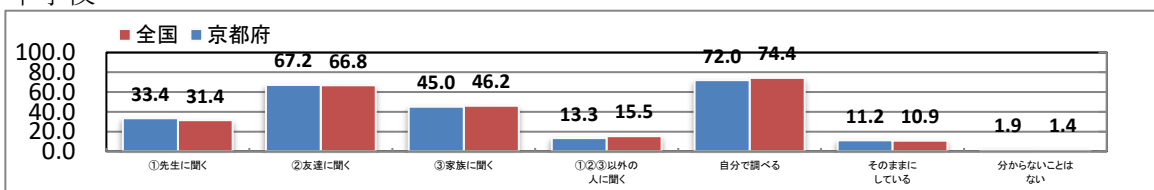


Q19 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか（複数選択）

小学校



中学校

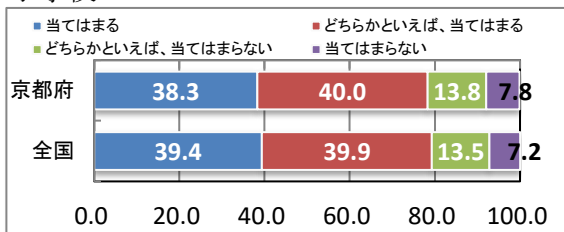


(4) 自己有用感について

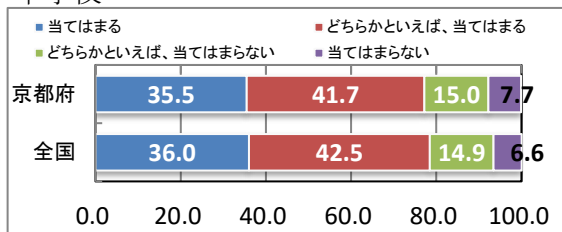
- 「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対する回答は、全国とほぼ同じ傾向がある。
- 「先生はよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対して、肯定的に回答している割合は、小学校で全国より低い傾向がある。
- 以下のグラフは各教科の正答率とのクロス集計であるが、**教科の学力が低い児童生徒ほど、肯定的に回答する割合が低い傾向がある。**

Q7 自分には、よいところがあると思いますか

小学校

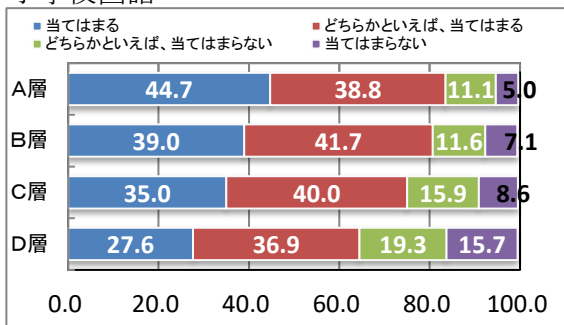


中学校

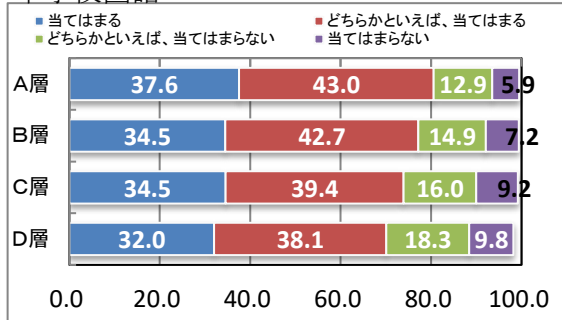


【各教科の正答率とのクロス集計】

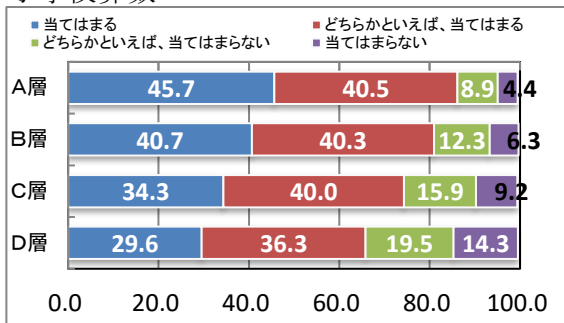
小学校国語



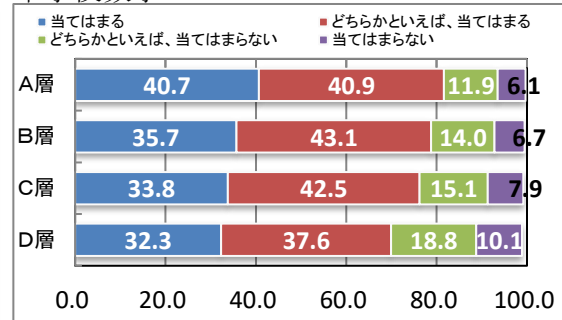
中学校国語



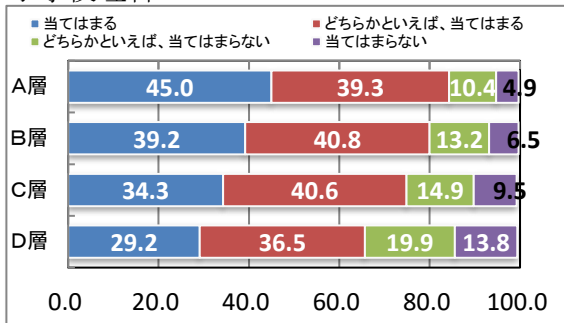
小学校算数



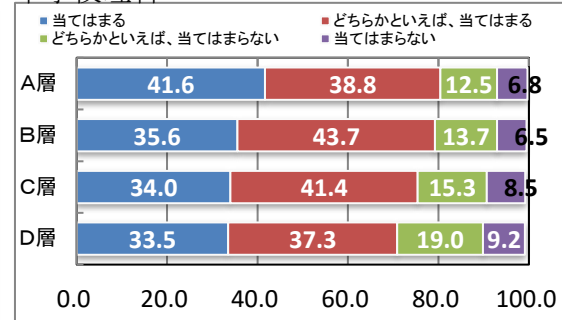
中学校数学



小学校理科

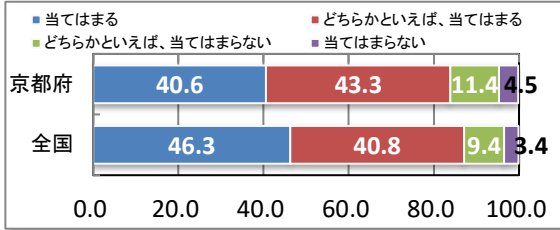


中学校理科

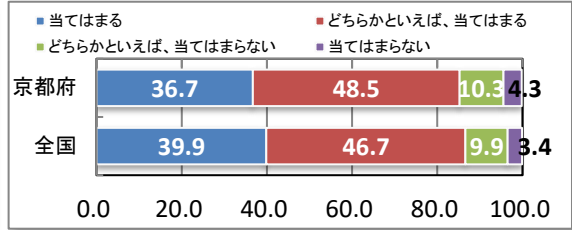


Q8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小学校

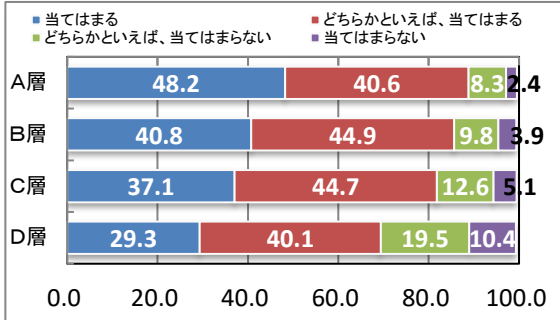


中学校

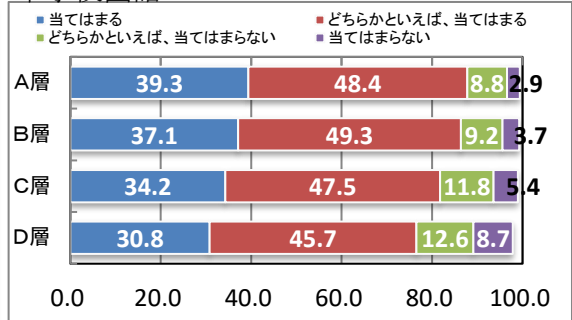


【各教科の正答率とのクロス集計】

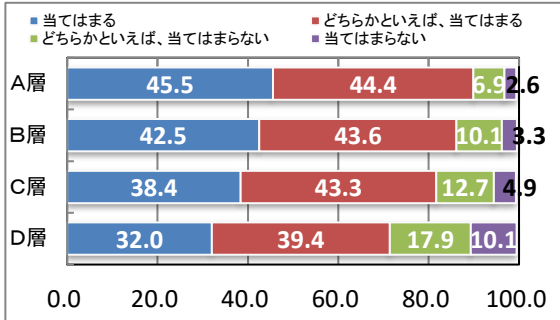
小学校国語



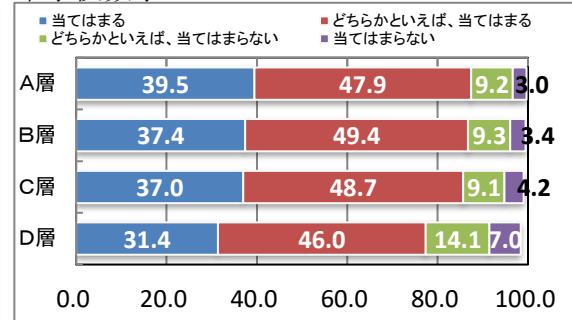
中学校国語



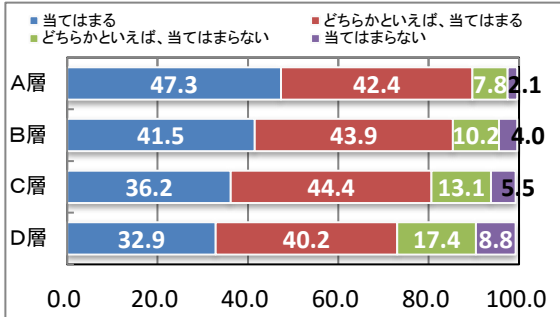
小学校算数



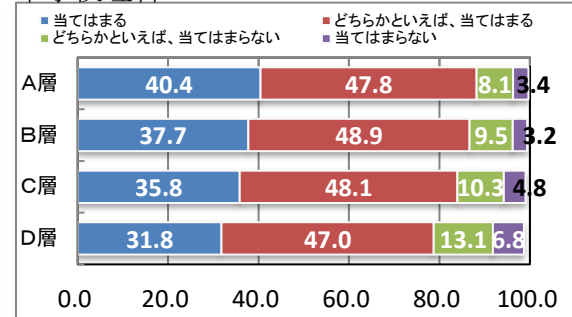
中学校数学



小学校理科



中学校理科

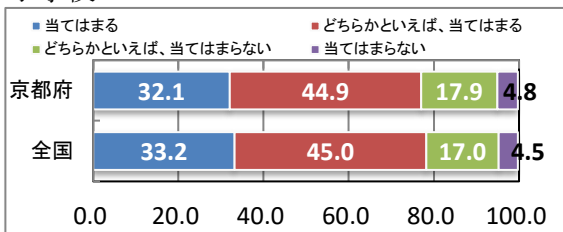


(5) 主体的・対話的で深い学びについて

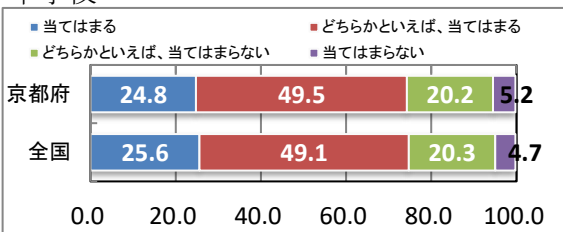
- 「学習した内容を見直し、次の学習につなげているか」という質問に対する回答は、全国とほぼ同じ傾向がある。
- 数学の授業で決まりや公式のわけを理解する、理科の授業で自分の予想をもとに計画を立てることについて、教科の学力が低い児童生徒ほど、肯定的に回答する割合が低い傾向がある。また、小学校より中学校で肯定的な回答の割合が大きく下がっている。

Q44 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学校

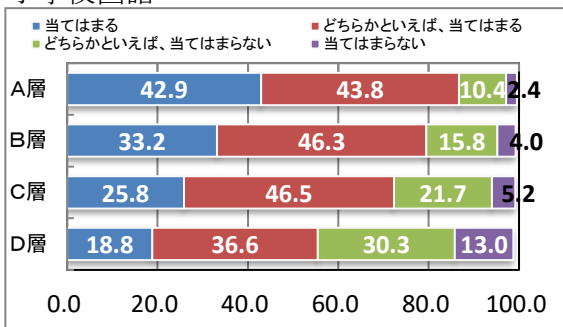


中学校

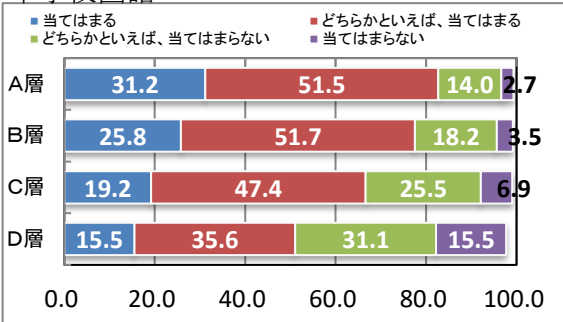


【各教科の正答率とのクロス集計】

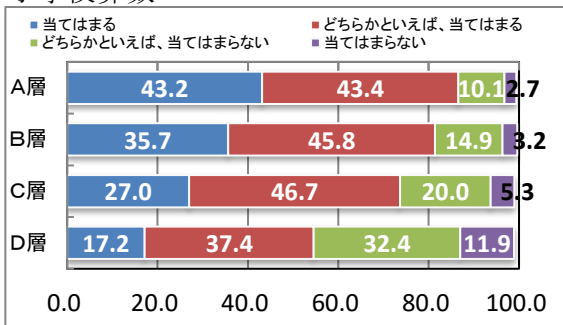
小学校国語



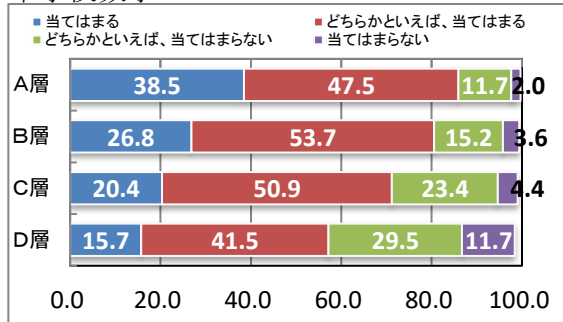
中学校国語



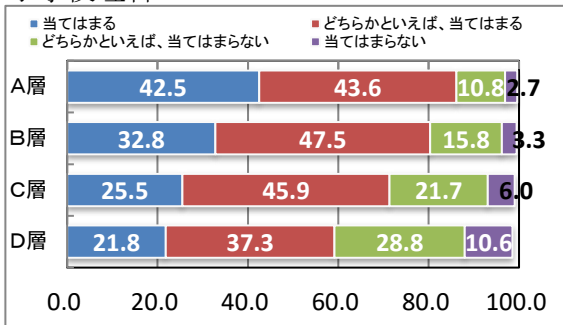
小学校算数



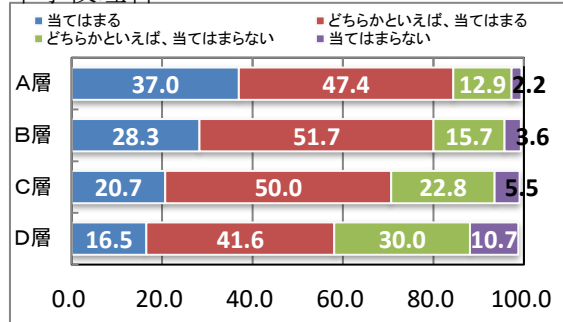
中学校数学



小学校理科

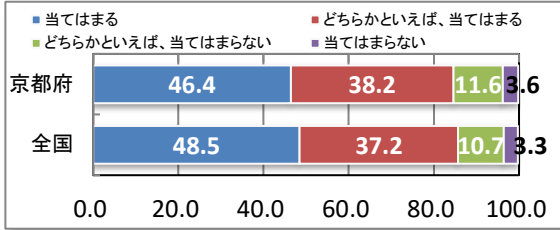


中学校理科

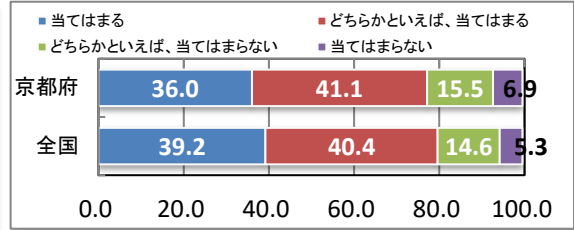


Q60 算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

小学校

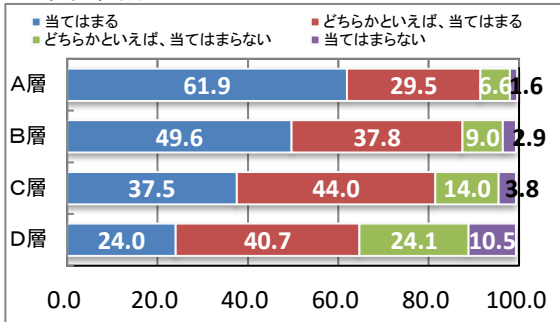


中学校

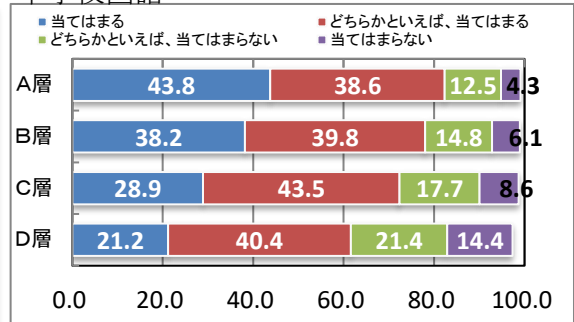


【各教科の正答率とのクロス集計】

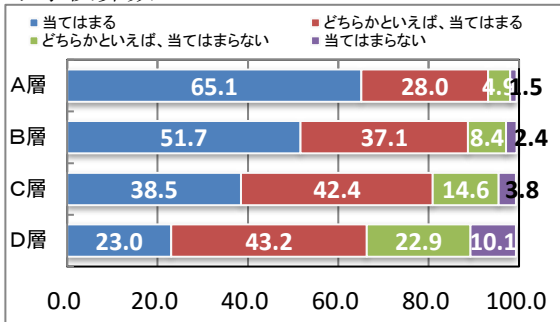
小学校国語



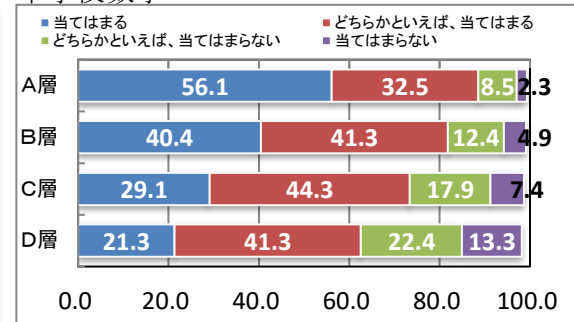
中学校国語



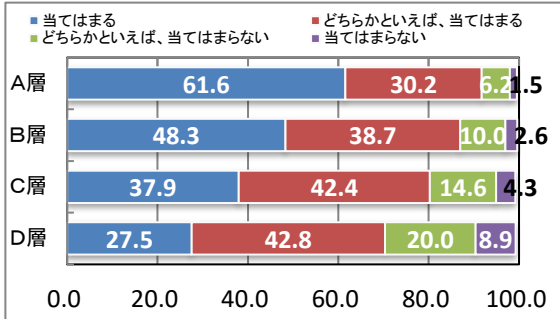
小学校算数



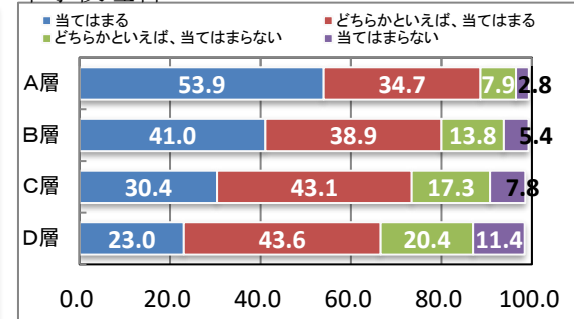
中学校数学



小学校理科

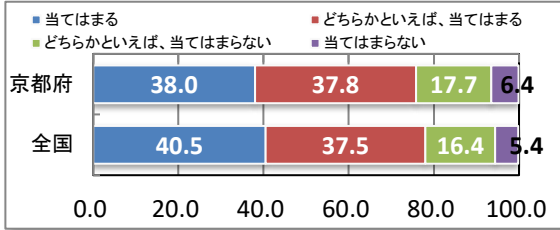


中学校理科

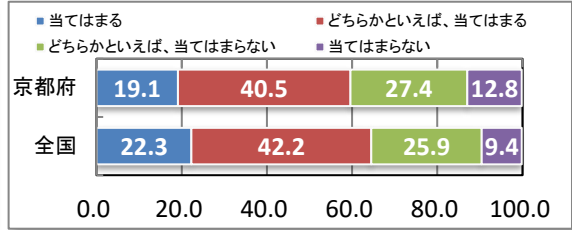


Q67 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

小学校

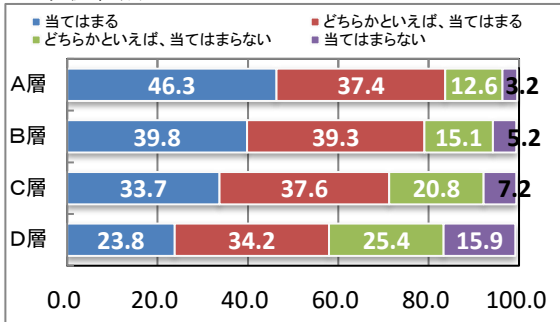


中学校

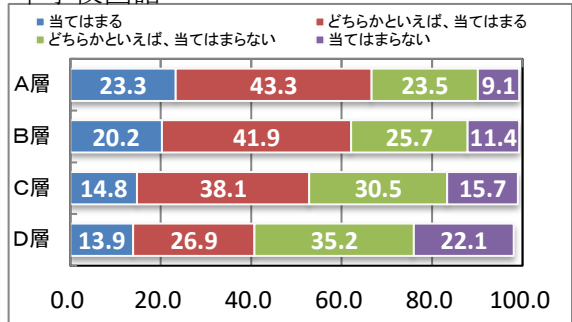


【各教科の正答率とのクロス集計】

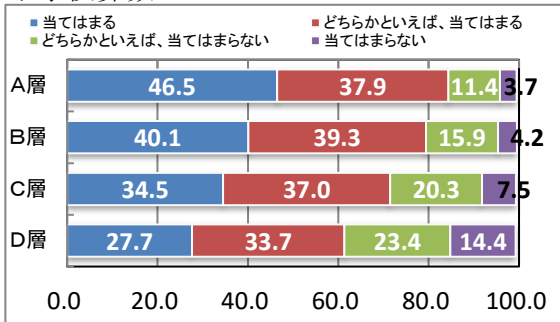
小学校国語



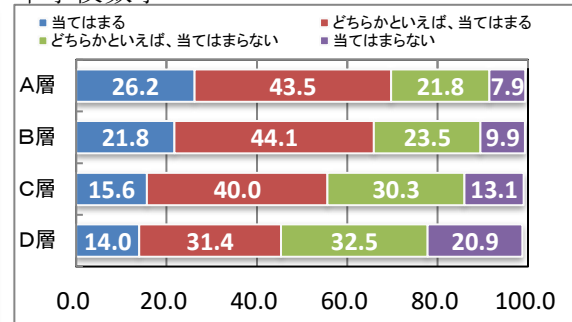
中学校国語



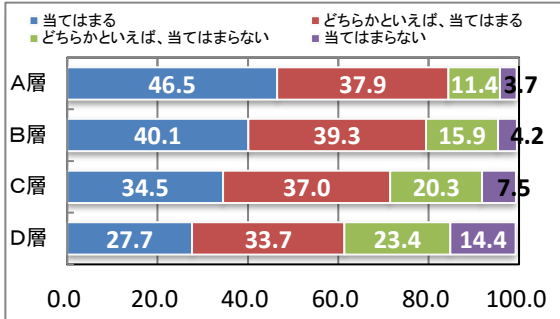
小学校算数



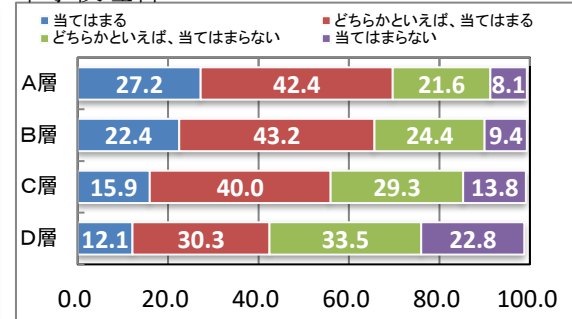
中学校数学



小学校理科



中学校理科



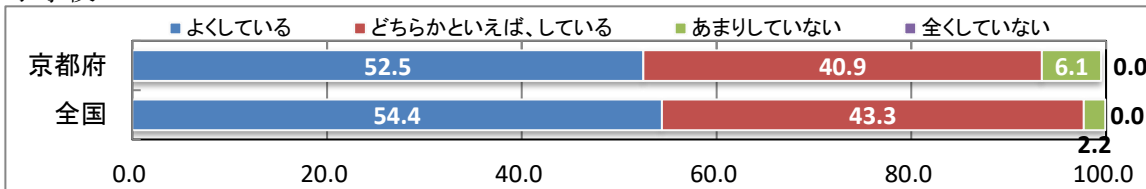
6 学校質問紙調査結果から ※京都府のデータからは、京都市を除いている。

(1) 研修等について

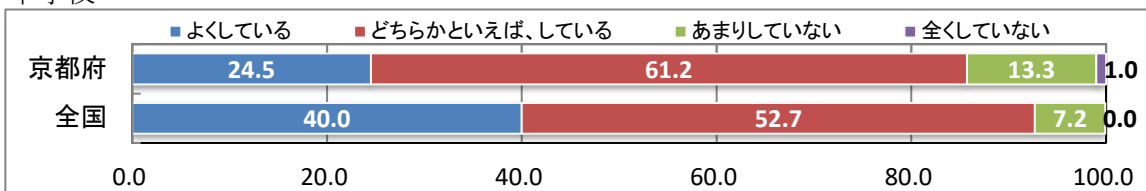
- 授業研究や事例研究等の研修など、実践的な研修を行っている割合は、全国と比べ低い傾向がある。特に中学校では全国との差が大きい。
- ICT機器の使い方を学ぶ研修機会の割合は、全国に比べて高い傾向がある。
- 教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行っている割合は、小学校で全国と同じ傾向、中学校では割合が低い傾向がある。

Q19 授業研究や事例研究等，実践的な研修を行っていますか

小学校

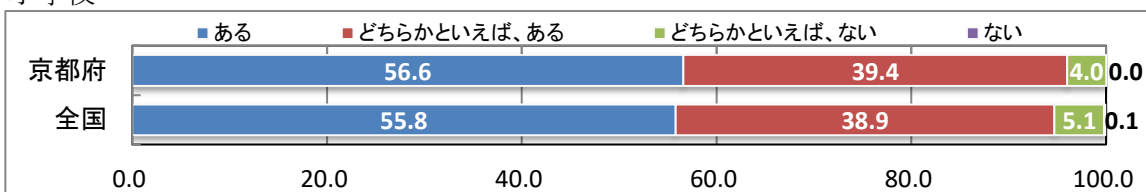


中学校

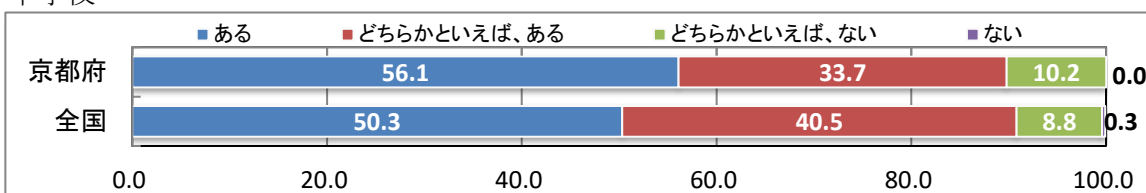


Q57(55) 教員がコンピュータなどのI C T機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

小学校

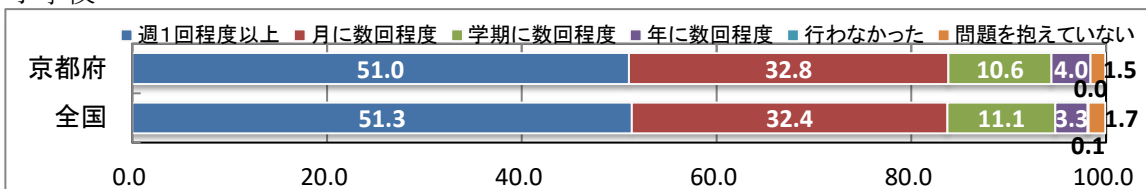


中学校

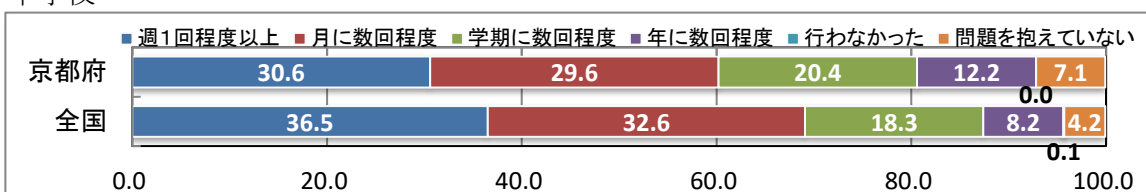


Q13 前年度に，教員が学級の問題を抱えている場合，ともに問題解決に当たることを行いましたか

小学校



中学校

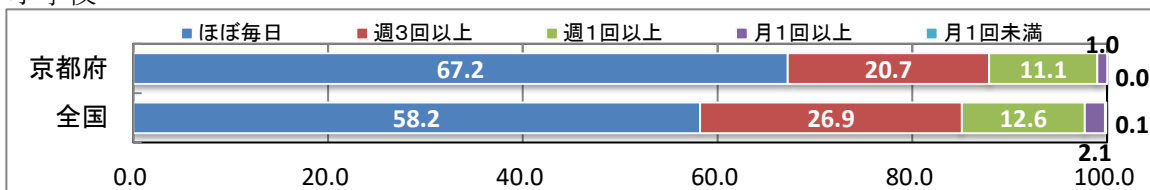


(2) 授業改善等について

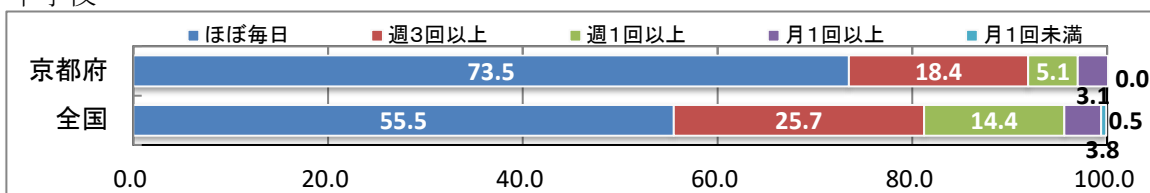
- 授業の中でICT機器を活用している割合は、小学校、中学校ともに全国に比べて高い傾向がある。
- 数学の授業で決まりや公式のわけを理解できるよう工夫する、理科の授業で自分の予想をもとに計画を立てることができるよう指導することについて、小学校より中学校で肯定的な回答の割合が下がっている。

Q59(57) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

小学校

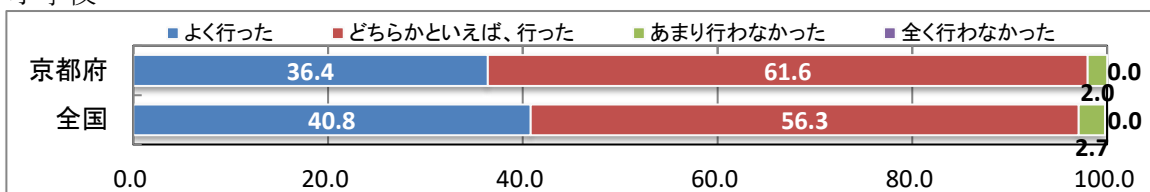


中学校

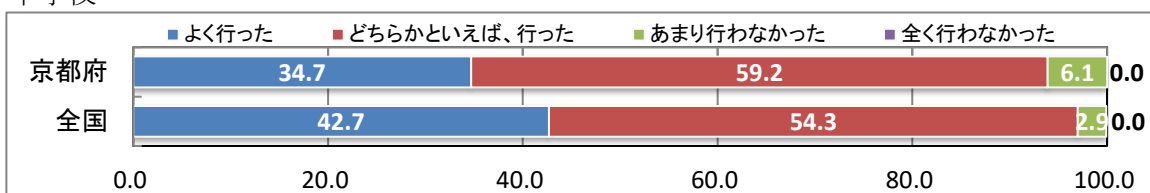


Q48 算数(数学)の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童(生徒)がそのわけを理解できるように工夫していましたか

小学校

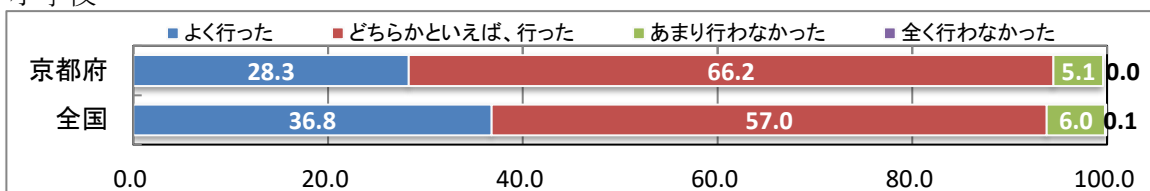


中学校



Q52(51) 理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか

小学校



中学校

